

## 【ユニット】 臨床入門

### 【ユニットディレクター】

UD：石橋 敬一郎（医学教育学）

UD 補佐：森 茂久（医学教育学） 山田 泰子（医学教育センター） 辻 美隆（医学教育センター）  
柴崎 智美（医学教育学） 向田 寿光（教養教育） 山崎 芳仁（教養教育） 森口  
武史（教養教育） 川村 勇樹（教養教育） 荒木 隆一郎（医学教育センター） 米岡 裕  
美（教養教育） 杉山 智江（医学教育センター） 大西 京子（医学教育センター） 植村  
真喜子（社会医学） 佐藤 義文（医学教育センター） 高橋 幸子（医療人育成支援センター）  
中平 健祐（教養教育） 金田 光平（医学教育センター）

### 【一般的な目標】

医学を学び、その成果をすぐれた医療人（臨床医）として実践できるようになるために、医学を学習することへの関心を高めるとともに、医学生として備えておくべき基本的な臨床技能及び態度を修得する。

### 【具体的な目標】

1. バーチャル病院見学を通して医学を学習することへの関心を高める。
2. 病院の雰囲気を経験し、目指している医療人としての自覚を育てる。
3. 病院の成り立ち、主要な部署の役割を述べる事が出来る。
4. バイタルサインの測定法に関する基本的な能力を身につける。
5. コミュニケーションに関する基本的な能力を身につける。
6. 一次救命処置（BLS）に関する基本的な能力を身につける。
7. 薫風園や光の家の機能と重要性について説明できる。
8. 非言語的コミュニケーションの重要性を知り、実践する。
9. 小中学校教育を通して児童生徒とのコミュニケーションを経験する。
10. 保健指導を通して児童生徒に対する教育的視点を身につける。
11. 体験を通して自分自身を振り返り、ヒューマンケアに携わるものとしての姿勢を身につける。

### 【学習方法】

今年度は COVID-19 感染拡大のため、登校しての実習、ZOOM 等を用いた遠隔実習の併用で行う。感染状況によっては変更することもある。変更時は SMUPASSPORT に通知する。

1. バーチャル病院見学
  - 1) 埼玉医科大学関連の3病院、大学病院、総合医療センター、国際医療センターのいくつかの病院内各部署をバーチャル見学する。
  - 2) 小グループに分かれ、各部署の見学について体験・意見・感想をまとめて発表を行う。
2. 基本的な臨床技能の習得
  - 1) コミュニケーション能力の開発  
学生は24班（約6名/班）に分かれ、初対面の地域の大人の方（模擬患者さん）と会話を行いコミュニケーションの基礎を学ぶ。次に学生は5班（約28名/班）に分かれ、コミュニケーションの基本についての講義とチュータの指導のもとに、模擬患者さんを相手に医療面接の基礎についての実習を行う。（模擬患者さんとの会話は、対面または遠隔で行う。）
  - 2) バイタルサインの測定法：  
学生は10班（約14名/班）に分かれ、チュータの指導のもとに、交替で基本的な体温、脈拍、血圧、呼吸の測定法についての実習を行う。

- 3) 一次救命処置(BLS) :  
学生は10班(約14名/班)に分かれ、チュータの指導のもとに、交替で基本的な心肺蘇生法についての実習を行う。
3. 高齢者とのコミュニケーション  
1) 学生は5班(約28名/班)に分かれ、高齢者とのコミュニケーションについて実習する。  
2) 地域で生活する高齢者の生活環境を知ると共に身体的・心理的特徴について考える。
4. 光の家療育センターヒューマンケア体験実習  
1) 学生は5班(約28名/班)に分かれ、利用者さんとの交流を図る。  
2) 障害者と交流することで非言語的コミュニケーションを体験する。  
3) 障害をもって生きることについての理解を深める。
5. 小中学校教育体験(ヒューマンケア体験実習)  
1) 学生は5班(約28名/班)に分かれ、小学校または中学校で学校教育を体験する。  
2) 児童生徒への保健指導を10分程度行う。各班に与えられた保健指導のテーマに基づいて学生は教員の指導を受けながら事前準備を行う。
6. 担当教員  
1. から5. について下記の教員が実習指導などを行う。  
森 茂久, 山田泰子, 向田寿光, 柴崎智美, 石橋敬一郎, 山崎芳仁, 森口武史, 川村勇樹, 荒木隆一郎, 杉山智江, 大西京子, 植村真喜子, 佐藤義文, 藤森千尋, 中平健祐, Chad Godfrey, 大間陽子, 鈴木 正, 西脇洋一, 土田敦子, 米岡裕美, 種田佳紀, 村上 元, 伊澤宜仁, 金田光平, 佐藤寛栄, 林 禅之, 辻 美隆, 小山政史, 黒崎 亮, 柴崎由佳, 他

## 【評価方法】

【本ユニットは実習扱いであり、90%以上の出席が必要である。】

本ユニットは良医になることを目指して、講義や実習に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。

出席、実習態度、レポートを勘案して100点満点で評価する。ただし、出席90%以上のものを評価対象とし、出席90%に達しないものは評価対象としない。

本ユニットでは全ての課題(提出物)の提出を確認した上で評価対象とする。具体的には、学務課や実習担当者に提出するレポート、健康チェック表、実習成果物等だけでなく、WebClassに登録する日々の振り返り(ログブック)、ループリック自己評価、レポート、ポストアンケートを含むすべての課題である。

また、それぞれの課題毎に決められた提出期限内に未提出の場合には、評価点を減点する。

SMUPASSPORTの健康状態の報告に回答する事を出席の要件とする。

やむを得ない理由で実習を欠席した場合には、出席が90%に達していても学年末(2月-3月)に補講を行うことがある。

## 【教科書】

- ◆ 医療面接技法とコミュニケーションのとり方 新基礎臨床技能シリーズ1, 福島 統, メジカルビュー社
- ◆ 身体診察と基本手技 基礎臨床技能シリーズ5, 倉本 秋, メジカルビュー社

## 【授業予定表】

ICM: Introduction to Clinical Medicine

|        | 月日     | 曜日  | 時限  | 講義名   | 担当者           |
|--------|--------|-----|-----|---|---------------|
| ICM 1  | 05月07日 | (金) | 4   | 実習オリエンテーション1  | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 2  | 05月07日 | (金) | 5   | 臨床入門実習の心得   | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 3  | 05月07日 | (金) | 6   | バーチャル病院見学ガイダンス  | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 4  | 05月14日 | (金) | 1~6 | バーチャル病院(大学病院、総合医療センター、国際医療センター)見学   | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 5  | 05月17日 | (月) | 1~3 | バーチャル病院見学のまとめと報告会   | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 6  | 06月28日 | (月) | 1~2 | 施設訪問オリエンテーション   | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 7  | 09月01日 | (水) | 4   | 実習オリエンテーション2-1  | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 8  | 09月01日 | (水) | 5   | 毛呂病院の歴史と薫風園の果たす役割   | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 9  | 09月01日 | (水) | 6   | 実習オリエンテーション2-2  | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 10 | 09月02日 | (木) | 3   | 重症心身障害児施設「光の家」の果たす役割  | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 11 | 09月02日 | (木) | 4   | コミュニケーションの基礎実習1   | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 12 | 09月02日 | (木) | 5   | コミュニケーションの基礎実習2   | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 13 | 09月02日 | (木) | 6   | 実習オリエンテーション2-3  | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 14 | 09月03日 | (金) | 1~3 | 実技演習-1-1<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 15 | 09月03日 | (金) | 4~6 | 実技演習-1-2<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 16 | 09月17日 | (金) | 1~3 | 実技演習-2-1<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 17 | 09月17日 | (金) | 4~6 | 実技演習-2-2<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 18 | 09月24日 | (金) | 1~3 | 実技演習-3-1<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |

|        | 月日     | 曜日  | 時限  | 講義名   | 担当者           |
|--------|--------|-----|-----|---|---------------|
| ICM 19 | 09月24日 | (金) | 4~6 | 実技演習-3-2<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 20 | 10月01日 | (金) | 1~3 | 実技演習-4-1<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 21 | 10月01日 | (金) | 4~6 | 実技演習-4-2<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 22 | 10月14日 | (木) | 4~6 | 実技演習-5-1<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 23 | 10月15日 | (金) | 1~3 | 実技演習-5-2<br>光の家, 高齢者とのコミュニケーション,<br>コミュニケーション,<br>バイタルサイン測定,<br>一次救命処置, 小中学校教育体験<br>詳細は実習要項参照 | UD, UD補佐, その他 |
| ICM 24 | 10月18日 | (月) | 1~3 | 実習のまとめ  | UD, UD補佐, その他 |

「UD, UD 補佐, その他」と記載してある時間は、以下の者が担当している。

石橋 (医学教育学)、森 (医学教育学)、山田 (医学教育C)、辻 (医学教育C)、向田 (教養教育)、柴崎 (医学教育学)、山崎 (教養教育)、森口 (教養教育)、川村 (教養教育)、藤森 (教養教育)、中平 (教養教育)、Chad Godfrey (教養教育)、大間 (教養教育)、鈴木 (教養教育)、西脇 (教養教育)、土田 (教養教育)、種田 (教養教育)、村上 (教養教育)、伊澤 (教養教育)、荒木 (医学教育C)、米岡 (教養教育)、杉山 (医学教育C)、高橋 (幸) (医療人育成支援センター)、金田 (医学教育C)、大西 (医学教育C)、植村 (社会医学)、佐藤 (義) (医学教育C)、佐藤 (寛) (生理学)、林 (教養教育)、吉益 (総セメンタルクリニック)、小山 (国七泌尿器腫瘍科)、黒崎 (国七骨盤腫瘍科)、柴崎 (由) (医学教育C)、その他

## マイルストーン評価

### 【ユニット】

臨床入門

### 【ユニットディレクター】

石橋敬一郎（医学教育センター）

### 【コンピテンス】

1. 社会人および医師としての基本姿勢
3. 診療技能・患者ケア
6. コミュニケーション能力
7. チーム医療

### 【マイルストーン】

- 1-(1). 医師の仕事の概要を理解し、ヒューマンケアの担い手となる自覚を確立している。
- 1-(3). 他者の意見を傾聴し尊重することができる。
- 1-(4). 医学生としての規範を遵守できる。
- 3-(2). バイタルサイン測定、一次救命処置について概説できる。
- 6-(1). 身だしなみ、言葉遣い、態度など、他者と接する基本姿勢を理解している。
- 6-(2). コミュニケーションの重要性を理解し、コミュニケーションの基本を概説することができる。
- 6-(3). 模擬患者を相手に自分の考えを伝えることができる。
- 7-(2). 医師の責務を理解し、医師になる医学生として適切に行動できる。

### 【評価方法】

- 1-(1). レポート「目指す医師像」
- 1-(3). 模擬患者による評価
- 1-(4). チェックリストの「アンプロフェッショナルの報告数」
- 3-(2). 小テストまたはグループワーク評価と提出ビデオ（BLS）で評価を行う
- 6-(1). 出席および態度チェックリスト
- 6-(2). コミュニケーション実習レポート
- 6-(3). 模擬患者による評定尺度
- 7-(2). 小中学校 作成したプロジェクトの評価

### 【補習および再評価の方法】

- 1-(1). レポートの提出
- 1-(3). レポートの提出
- 1-(4). レポートの提出

## マイルストーン評価

3-(2). レポートの提出

6-(1). レポートの提出

6-(2). レポートの提出

6-(3). レポートの提出

7-(2). レポートの提出